

## II 離床を行う上での基礎知識

### II-6. 意識・精神状態

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□II-6.1 意識状態の基礎知識	□II-6.1.1 意識に関連する神経回路について理解している	□意識の覚醒状態を保つ中枢について説明できる	J-06 フィ理 R-18 脳卒中 R-28 臨床画像 R-31 重症アセ  フィジ P143 脳ガイド P51 P101		○
		□大脳皮質へ表在感覚・深部感覚の情報を送る中継点について説明できる	脳ガイド P126		◇
	□II-6.1.2 意識の生理について理解している	□意識を保つために必要な情報を3つ以上挙げられる			○
		□呼吸・循環と意識の関係について説明できる	完全2 P58 脳ガイド P99		◇
□II-6.2 意識状態の評価	□II-6.2.1 正常な意識レベルについて理解している	□正常な覚醒状態について説明できる	J-06 フィ理 R-18 脳卒中 R-28 臨床画像 R-31 重症アセ  フィジ P58 P139		○
		□正常な認知状態について説明できる	フィジ P58 P139		○
	□II-6.2.2 意識レベル低下について理解している	□傾眠について説明できる	J-06 フィ理 R-18 脳卒中 R-28 臨床画像 R-31 重症アセ		☆
		□昏睡について説明できる			☆
		□見当識障害について説明できる			☆
		□異常肢位について説明できる	フィジ P66 脳ガイド P100		☆
	□II-6.2.3 意識状態を把握するスケールについて理解している	□代表的なスケールを2つ挙げられる	J-06 フィ理 R-18 脳卒中 R-31 重症アセ  完全2 P57-58 フィジ P67 脳ガイド P100		◇
□II-6.3 意識障害の病態	□II-6.3.1 意識障害を生じる病態について理解している	□意識障害を生じる病態を5つ挙げられる	J-06 フィ理 R-18 脳卒中 R-28 臨床画像 R-31 重症アセ  フィジ P140-143 脳ガイド P101		○
		□意識レベル低下の原因となる緊急度の高い疾患を3つ挙げられる	フィジ P140-143		◇
		□意識レベル低下の原因となる頻度の高い疾患を3つ挙げられる	フィジ P140-143		◇

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅱ-6.3.2 意識障害と離床の 関係について理解 している	□意識障害と離床の関係について3つ挙げられる	J-06 フィ理 R-18 脳卒中 R-28 臨床画像 R-31 重症アセ  完全2 P21 P57-60 P145- 146		☆
□Ⅱ-6.4 鎮静の基礎知識	□Ⅱ-6.4.1 鎮静と離床の関 係について理解し ている	□鎮静と離床の関 係について、離床・鎮静・せん 妄の関連図から説明できる	R-04 人工理論 R-23 薬剤 R-31 重症アセ  完全2 P58-60		☆
	□Ⅱ-6.4.2 鎮静の功罪につ いて理解している	□鎮静の目的につ いて説明できる	R-04 人工理論 R-23 薬剤 R-31 重症アセ  完全2 P58-60 P145		○
		□過鎮静の欠点につ いて説明できる	完全2 P59 P145-146		○
	□Ⅱ-6.4.3 鎮静薬の種類と特 徴について理解し ている	□ミタゾラムの特 徴について説明できる	R-04 人工理論 R-23 薬剤 R-31 重症アセ  完全2 P145- 146		◇
		□プロポフォール の特徴について説明 できる	完全2 P145- 146		◇
		□デクスメトミジ ンの特徴について説 明できる	完全2 P145- 146		◇
	□Ⅱ-6.4.4 鎮静状態を評価す るスケールにつ いて理解している	□鎮静状態を評価 するスケールを3つ 挙げられる	R-04 人工理論 R-23 薬剤 R-31 重症アセ  完全2 P59		◇
□Ⅱ-6.5 せん妄	□Ⅱ-6.5.1 せん妄の原因につ いて理解している	□せん妄の原因につ いて説明できる	R-31 重症アセ  完全2 P23 P44 P60-61		○
	□Ⅱ-6.5.2 せん妄の型（タイ プ）について理解 している	□せん妄の2つの 型（タイプ）につ いて説明できる	R-31 重症アセ  完全2 P60		○
	□Ⅱ-6.5.3 せん妄の症状につ いて理解している	□せん妄の症状につ いて3つ挙げられる	R-31 重症アセ  完全2 P23 P60-61		◇
		□せん妄による弊 害について3つ挙げ られる	完全2 P23 P60		◇

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□ II-6.5.4 せん妄と不穏の違いについて理解している	□ せん妄と不穏の違いについて説明できる	R-31 重症アセ 完全2 P23		◇
	□ II-6.5.5 せん妄を起こしやすい薬剤について理解している	□ せん妄を起こしやすい薬剤を4つ挙げられる	R-31 重症アセ 完全2 P61		◇
	□ II-6.5.6 せん妄時の治療と対処について理解している	□ せん妄時のアセスメント方法について説明できる	R-31 重症アセ 完全2 P61		◇
		□ せん妄に対しての対処方法を5つ挙げられる	完全2 P23 P60-62		☆
		□ 具体的な鎮静管理についてRASSを用いて説明できる	完全2 P59		☆
	□ II-6.5.7 せん妄を評価するスケールについて理解している	□ せん妄を評価するスケールを2つ挙げられる	R-31 重症アセ 完全2 P61		◇
	□ せん妄と離床の関係について理解している	□ せん妄と離床の関係について説明できる	R-31 重症アセ 完全2 P21 P60-62		☆
□ II-6.6 認知症	□ II-6.6.1 認知症の症状について理解している	□ 認知症の症状について説明できる	J-10 フレイル		○
		□ 認知症の型を3つ挙げられる			○
	□ II-6.6.2 認知症を評価するスケールについて理解している	□ 認知症を評価するスケールを3つ挙げられる	J-10 フレイル		◇
	□ II-6.6.3 認知症の治療と対処について理解している	□ 認知症の治療と対処について説明できる	J-10 フレイル		◇
		□ 認知症に用いられる薬剤について説明できる			◇
		□ 身体拘束の欠点について説明できる	A-07 抑制 フィジ P214-215		☆
	□ II-6.6.4 認知症と離床について理解している	□ 認知症患者における離床の留意点について説明できる	J-10 フレイル		☆

大項目	中項目	小項目	確認印
／ 6	／ 23	／ 40	

← 中項目の点数はP102に転記して下さい